

# 6月下旬以降の感染事例のゲノム解析の状況

- 県衛生環境研究所において、57検体をゲノム解析し、うち2検体がB A. 5系統と判明。  
(7月2日：25検体中 0件、7月6日：32検体中 2件がB A. 5)
- 2検体は、いずれも東予地域の保健所の事例 (1件はクラスター)

## 【B A. 5系統の検出状況】

|                    | 検体採取時期 |       | 合計    |
|--------------------|--------|-------|-------|
|                    | 6月下旬   | 7月上旬  |       |
| オミクロン株<br>(B A. 5) | 2      | 0     | 2     |
| オミクロン株<br>(B A. 2) | 45     | 10    | 55    |
| 合計                 | 47     | 10    | 57    |
| B A. 5の割合          | 4. 3%  | 0. 0% | 3. 5% |

# 「B A. 5 系統」の特徴等

## <発生状況>

### 《海外》

- 南アフリカで、世界で最初にB A. 5 系統を検出。  
4月～5月にかけて、置き換わりが進み、同時期に陽性者数が増加。
- 現在、イギリスやアメリカなどの欧米諸国でB A. 5 が拡大。

### 《国内》

- 東京都では6月下旬にB A. 5 の疑いのあるケースが約25%
- 7月末には全国でB A. 5 に置き換わると推測（専門家会議）

## <特徴>

- 「感染力」：B A. 2 系統の1.2 倍程度。
- 「重症度」：重症度が増加するとの証拠はない。
- 「ワクチン」：免疫を逃れる性質があり抗体の効果が低下  
(ブースター接種の有効性は認められている)  
重症化予防効果は一定程度保たれる

## <対策>

- 基本的な感染回避行動の徹底。
- ワクチン3回目接種（期間が経過した高齢者は4回目接種）